

トピックス

「Do! パピ」活用スタート



電子書籍システム「Do!パピ」を活用した新たなコミュニケーションの創出をめざす同志社電子書籍プロジェクトでは、フィールドを「小学校」として、2校での運用を進めています。

京都府精華町の精華町立東光(ひがしひかり)小学校では、小学校と保護者をつなぐコミュニケーションのしくみとして「Do! パピ with 東光」を提供しました。学校便りなどの紙媒体がデータで閲覧できるほか、これまで写真でしか伝えられなかった学校行事のようすを臨場感あふれるムービーで配信することも可能となり、かねてより出ている保護者からの声にも応えるかたちとなりました。

また、同志社小学校では、学校で保管されている動物のはく製活用のためのツールとして活用を進めています。実現に向け、はく製の観察や動物園でのフィールドワークなど、小学生とのワークショップを実施し、デジタル図鑑としてのシステム運用を目指して活発に活動を進めています。

2013年度 最終成果報告会

日時：2014年3月8日(土) 12:00~
場所：同志社ローム記念館 劇場空間

「京田辺 遊び場マップ」配布開始



2012年度のプロジェクトで制作した「京田辺 遊び場マップ(冊子:全30ページ)」の配布がこの秋からスタートしました。京田辺市役所子育て支援課窓口をはじめ、市内に2ヶ所ある子育て支援センターや「子育てひろば てふてふ」などで配布されています。

2014年度プロジェクトメンバー募集

現在、新しく始まる「プレ・プロジェクト」のメンバー募集をおこなっています。また、2014年春にスタートする単年度のプロジェクトは3月中旬に決定し、メンバー募集を開始します。4月にはメンバー募集説明会等も開催予定ですので、同志社ローム記念館プロジェクトのFacebookページや、Webサイトのご案内をお見逃しなく!

編集後記

私が大学に入学した年から、今年で丁度10年目になる。ローム記念館の誕生と時を同じくして大学デビューした私は、登山サークルに所属し、4年間山に登ることばかりを考えていた。計画を立て、山行を成功させるために、重い荷物での歩荷トレや、岩場の歩行訓練、地図を読む訓練などを積んだ。トレーニングはとても辛かったが、それを乗り越えて皆で登った山は、大きな達成感を感じられるものであり、それこそ醍醐味であった。

プロジェクトと登山とは目標の分かりやすさなどに違いはあるが、「チームで目標をたて、それぞれがスキルを磨き、目標に到達するまでの道筋をスケジュール管理しながら活動すること」という取り組みの根本は同じではないだろうか。リスク管理も必要であり、何よりも、チームワークがとても重要で、各々がチームに貢献する姿勢が求められる。

10年という区切りの時を迎えた同志社ローム記念館では、来年度から新しいプロジェクトのスタイルがはじまる。これをきっかけに、メンバーが切磋琢磨しあう環境を更に築き、プロジェクトの醍醐味である“達成感”をメンバーにもっとも感じてもらいたいと願う。

(同志社ローム記念館事務局 和田 朋)



プロジェクト・サポート 募金のお願い

学校法人同志社 総長 大谷 實
理事長 水谷 誠

学校法人同志社は、同志社大学ならびに同志社女子大学を中心とした法人内各学校が一致協力して同志社ローム記念館でのプロジェクト主義に基づく新しい教育・人材育成を積極的に進めています。また、これまでも現代GP申請による補助金獲得など学外資金を積極的にとりいれるべく努力をしております。この同志社独自の新しい教育・人材育成事業を発展的に展開させるために、教職員をはじめ広く社会、市民のみならず皆様からご支援をお願いすることとし、プロジェクト・サポート募金を実施しております。皆様方におかれましては是非ともご賛同いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。募金のパンフレットおよび詳細につきましては、大学京田辺校地総務課(ローム記念館事務局)にお問い合わせください。募金は、大学資金課、女子大学経理課、各校事務室でも受け付けます。

同志社ローム記念館
プロジェクト・レポート

DIR

[ディー・アール]



新たな10年の始まり 創刊第20号!

2009-2013活動記録

新しいプロジェクトのスタイル

同志社ローム記念館オープン10周年記念イベント「interaction」開催!

2013年度プロジェクト ステップアップキャンプ・中間報告会・同志社クローバー祭

大人のippo 特別号
イベント報告

DIR Information

Vol.20
January
2014

2009年度

- 4月20日(月) 自己プログレスレポート実施
- 4月30日(木)～5月2日(土) ウェイクアップキャンプ 初の2泊3日、ワークショップ形式でのキャンプ。
- 7月 DIR Vol.10発行
- 8月8日(土)～9日(日) ステップアップキャンプ プログラムの企画にコアスタッフも参加。ワークショップ中心で、OP (Old Project-member) も参加。
- 9月26日(土) 中間報告会 外部審査員を招へい。
- 10月13日(火)～26日(月) 「商品企画ワークショップ～小学生ノ『夏休み自由研究キット』を企画セヨ!～」実施 初の短期プロジェクト。
- 10月31日(土)・11月1日(日) 同志社京田辺祭2009 「ロームパーク09 時計うさぎをおいかけろ」学生コアスタッフがプロジェクトイベント全体のテーマを設定、館内装飾も充実。
- 10月31日(土) OP会 前年度に引き続いての開催。
- 3月23日(火) メンバー相互評価実施。メンバーの関心が高かったプロジェクトに対する「ゴールデン・エッグ賞」、ベストリーダー賞、Webデザイン賞などの個人賞を設置。



2012年度

- 4月 メンバー向け「同志社ローム記念館プロジェクトハンドブック」配付 OPによる「大人のippo」創刊
- 4月28日(土) 「OP総会」開催
- 5月 ウェイクアッププログラムに「コミュニケーション」をテーマとしたプログラムを追加
- 8月 ローム記念館事務室移転
- 9月29日(土) 中間報告会 各プロジェクトルームを会場にセッションを実施。
- 10月 2013年度プロジェクト募集開始 学生主体でエントリーする制度に変更。
- 12月3日(月)～21日(金) 短期プロジェクト「大学生の意識調査とモチベーションアップ企画」
- 12月6日(木)・7日(金) ロームフェア 今回は、企画段階から「舞台計画」、「クリエイターバンク」が参加、協力。
- 1月 「スタジオZero」始動 コアプロジェクト「舞台計画」、「クリエイターバンク」、「SCoPコア」の活動内容をもとに新チームとして再編。
- 3月9日(土) 最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会 大賞受賞プロジェクト該当なし。



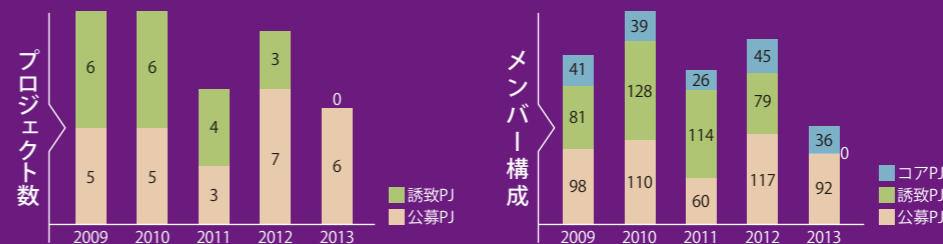
新たな10年の始まり

2009-2013 活動記録

2013年秋、オープン10周年を迎えた同志社ローム記念館。

10年というひとつの区切りを迎え、ここで展開するプロジェクトにも新しい枠組みが登場する。今を生きる学生とともに、今だからできる「プロジェクト」の形を模索し、ますます発展していきたい。この広報誌「同志社ローム記念館プロジェクト・リポートDIR」も今号で発行20号目となる。オープン以降6年間の歩みは、Vol.10で紹介した。今号では、2009年から今年度までの取組を振り返ってみたい。

同志社ローム記念館プロジェクト 参加者推移



2010年度

- 4月26日(月)～5月21日(金) ウェイクアッププログラム 「プロジェクト」をスムーズにスタートさせるためのメンバー向けプログラム。
- 6月～11月 短期プロジェクト「プロジェクトを成功させるためのケータイ活用法開発プロジェクト」
- 8月10日(火)～12日(木) ステップアップキャンプ 2泊3日。メンバーからなるキャンプ実行委員会によるプログラム中心に。
- 1月 同志社ローム記念館プロジェクトポリシー 策定

2011年度

- 4月 同志社大学複合領域科目「プロジェクトとしての人生を考えよう」開講 コアプロジェクト改編 「学生コアスタッフ」⇒「舞台計画」「コアパブリック」各プロジェクトの代表者からなるチーム「SCoP」設置
- 5月 ウェイクアッププログラムで「CM制作ワークショップ」導入
- 10月1日(土) 中間報告会で社会人との座談会開催
- 10月14日(金) 「企業・学生交流会」開催
- 12月1日(木)～12月20日(火) 短期プロジェクト「facebookを題材にしたコミュニケーションツール利用状況のマーケティングリサーチ」
- 1月 「SCoP憲章」策定 プロジェクトの経験者からなるチーム「SCoPコア」(4名)も設置。
- 3月3日(土) 最終成果報告会・同志社ローム記念館大賞発表会同日開催 大賞受賞プロジェクト該当なし。



2013年度

- 3月7日(木)～5月31日(金) スタート・ポイントキャンペーン
- 9月28日(土)～10月14日(月・祝) 同志社ローム記念館オープン10周年記念イベント「interaction」「京田辺市CM制作プロジェクト」「同志社プロジェクト」など、短期のプロジェクトも展開。
- 11月16日(土) 「漫オワークショップ」開催



新しいプロジェクトのスタイル

3ヶ月か? 1年か?

試行錯誤を重ねてきた10期のプロジェクト。その実績をふまえ、いま大切にしたいことも見えてきた。

2014年度からは、これまでどおりの単年度プロジェクトに加え、プロジェクト初心者のためのプロジェクトスキルとマインドを育む短期間のプロジェクトを展開する。

前ページでも紹介したとおり、これまでも、商品企画や映像制作など、いくつかの短期プロジェクトを展開してきた。3週間程度のものから、3ヶ月、半年のものまで、いずれも限られた期間の中で、初対面のメンバーとのチームづくり、スピーディな企画と明確な目標設定、スケジュール管理が求められた。

参加メンバーにとっては非常にシビアなプロジェクトではあるが、短期間に集中して取り組めるため、メンバーの満足度も高く、短期プロジェクトをきっかけに、ローム記念館プロジェクトに参加し、活躍しているメンバーもいる。

今回新たに実施する短期プロジェクトの枠組みは「プレ・プロジェクト」と名づけられた。プロジェクトのスキルとマインドを育むためのプログラム、いわば「プロジェクト塾」である。

プロジェクトは、ただ単に参加しているだけではスキルもマインドも身につかない。チームが目指す目標に向けて、プロジェクトの一員としてどう力を発揮し、貢献するかを常に考え、行動することがチームにとっても自分自身にとっても重要である。プレ・プロジェクトでの活動を通して、プロジェクト運営のスキルや、チームで活動する際のメンバーとしてのマインドを身に付け、さまざまな場で活かしてほしい。また、その経験を活かして次年度以降のプロジェクトでも活躍してほしいという思いもある。

プレ・プロジェクトと単年度のプロジェクトが、相互に影響し合いながら、より質の高い学びへ、そしてプロジェクトのすばらしい成果へと結実するよう、進めて行きたい。



短期間で集中して取り組む「プレ・プロジェクト」

2014年度
テーマ

春：インタラクティブ・インスタレーションをつくる
秋：新しい「文具」の企画

Point 1 3ヶ月に凝縮！

プロジェクトの実施に必要な知識を学ぶチュートリアルと、企画、制作・開発、発表などの具体的な活動で構成される。他の活動との両立もしながら打ち込めるのも、3ヶ月だからこそと言える。短期ながら、ともに活動に取り組む中で、新しい仲間、コミュニティも生まれる。



Point 2 スキルアップ！

3ヶ月の活動を通して、テーマに関する知識を習得するだけでなく、「プロジェクト」を進めていくためのスキルも向上。短期間ではあるが、チーム内でメンバーとしてどのように関わるかを考え、実践することは、社会に出て役立つ経験といえる。



Point 3 更なるプロジェクトへのチャレンジ！

春、秋いずれかだけの参加はもちろん、両方のプログラムに参加することもできる。また、プレ・プロジェクトで学んだことをもとに、次年度の単年度プロジェクトエントリーにもチャレンジしてほしい。秋のプログラムを終える頃には、次年度の単年度プロジェクト募集がスタートする。秋のプレ・プロジェクトに参加したメンバーからのエントリーは、一般の締切より約3週間遅くまで受け付けられるというメリットもある。



項目	2013			2014									2015										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
単年度プロジェクト				2014年度(第11期)プロジェクト実施																			
2014年度(第11期)			プロジェクト選考																				
				メンバー募集																			
プレ・プロジェクト																							
単年度プロジェクト																							
2015年度(第12期)																							

同志社ローム記念館オープン10周年記念イベント

「Interaction」開催！

9月28日(土)～10月14日(月・祝)

同志社ローム記念館のオープン10周年を記念し、京田辺市との共催で、記念イベント「Interaction」が開催された。これまでの10年間での取り組みをふまえ、過去に館内で実施されたプロジェクトのリバイバル版短期プロジェクトや、OP(Old Project-member)の有志で企画されたイベントなどを開催。また、「Interaction」(相互作用・ふれあい)というイベント名のとおり、京田辺市民や学生に実際に経験してもらうことでローム記念館をより身近に感じてもらうと、参加型イベントや体験コーナーももうけられた。京田辺市の魅力を様々なカタチで発信し、ふれあいをテーマにした「10」のイベントは2週間にわたって開催され、のべ1,200名の来場者を迎えた。

イベント別開催報告

京田辺市CM制作プロジェクト(短期プロジェクト)

7月1日(月)～10/14(月・祝)	プロジェクト活動期間
9月28日(土)～10月14日(月・祝)	劇場空間にて映像の放映
10月14日(月・祝)	表彰式
最優秀賞：「イロ★ハス」チーム	
京田辺市長賞：「あすみチャンネル」チーム	

2007年度に実施した「京田辺市PRメディア制作プロジェクト」のリバイバル企画。同志社大学があるまち「京田辺」の魅力を発信するCMを制作するもので、4チーム、14名の学生が参加し、CM作品を制作した。完成した作品は、イベント期間中に劇場空間等で放映され、10月14日(月・祝)の表彰式で優秀賞、及び京田辺市長賞が授与された。優秀作品は、京田辺市のPRメディアとして活用される予定。

制作コメント 最優秀賞を授賞した「イロ★ハス」チーム

京田辺市は大阪や京都のベッドタウンで、毎日電車で帰ってくる場所。京田辺市の「普段の雰囲気」を出せる様に意識して撮影しました。一般的な「まちのCM」とは違ったものをつくりたかったので、コンセプトを「少し物語風の物静かな雰囲気」と決めました。映像制作で工夫した点は、主人公の顔があまり見えないようにしたり、カメラのアングルにもこだわって撮影したりしたところ。また、音についても、効果音として電車の音や夜の鈴虫の音、扉をガラガラと開ける音などをいれ、BGMを途中から流したりと工夫しました。京田辺市のあたたかい雰囲気を感じてもらえるとうれしいです。



プロジェクションマッピング(短期プロジェクト)

7月1日(月)～10月18日(金)	プロジェクト活動期間
10月14日(月・祝)	イベント開催

2012年度「同志社プロジェクション」のリバイバルプロジェクト。昨年度活動したメンバーに加え、短期プロジェクトとして新メンバーを募り、8名が活動を展開した。「ローム記念館」ならではの作品にしたいとの思いから、大学のあるまち「京田辺」、「IT・メディア」をイメージした映像コンテンツを制作し、ローム記念館前にてプロジェクションマッピングのイベントを開催した。



ベーカリーカフェ「JOHERMI」コラボ企画 アイデアパンコンテスト Made in 京田辺 & アイデアパン総選挙！

9月28日(土)～10月14日(月・祝)	アイデアパンの販売
10月14日(月・祝)	アイデアパン総選挙
ベストオブアイデアパン：「玉露・抹茶クリームパン」	
2位：「田辺リータ☆彡(京田辺ピザパン)」	
3位：「マーボーナスデニッシュ」	



京田辺市の特産品である玉露(茶・抹茶)や田辺なす、一体納豆などを使ったオリジナルパンのアイデアを市民や学生から募集。応募作品の中から、3点が商品化され、館内のベーカリーカフェ JOHERMIで販売された。また、10月14日には「アイデアパン総選挙！」が開催され、投票により「ベストオブアイデアパン」を選出、表彰式を行った。商品化には至らなかったものの、アイデアが素晴らしい3人の応募者には「アイデア賞」が授与された。

企画・運営：スタジオZero

みんなでつくろう モザイクアート

9月28日(土)～10月14日(月・祝)

メールで送信した写真がリアルタイムに画面上のモザイクアートの絵の一部となる参加型企画。送信してもらう写真のテーマは「京田辺」で、大学やまちの景色などが寄せられた。



企画・運営：スタジオZero

コミュニケーションロボット 「トミーくん」と話そう！

10月14日(月・祝)

岡山県立大学情報工学部渡辺雷夫研究室のご協力のもと、人の会話リズムや抑揚に反応してうなづくコミュニケーションロボット「トミーくん」を展示。こどものみならず、大学生にも大変好評であった。



「ものづくり教室」

10月14日(月・祝)

第1期より引き継がれている「ロボット」制作のプロジェクトが、ここ数年毎年展開している子ども向けの電子工作教室。手に持って振ると文字や絵が光る「バーサライタ」の制作に取り組んだ。これまでのノウハウを活かし、丁寧な下準備とマニュアル整備がなされ、有意義なプログラムとなった。



企画・運営：ロボット関連プロジェクトOP有志・ROBOX

なぞときイベント 「目覚めるとそこはローム記念館劇場空間だった」

9月28日(土)～10月14日(月・祝)

過去にプロジェクトメンバーとして活動したOPが集い、約3ヶ月間で準備した謎解きイベント。館内にちりばめられた謎を解く参加型イベントでITやメディアを意識した謎もいくつか含まれていた。学生が授業の合間にチャレンジしたり、休日に親子で挑戦したりする姿が多くみられた。



企画・運営：コアプロジェクトOP有志

京田辺の美味しいものコーナー

10月14日(月・祝)

京田辺市茶業青年団、京田辺市産業振興課のご協力のもと、京田辺市の特産品である玉露の試飲コーナーを出展した。あわせて、京田辺の特産品をあつめた「一休品」の紹介コーナーを設置。「一休さん」も登場し、会場を盛り上げた。



オリジナルコンピュータゲームイベント 「GE-SEN」

10月14日(月・祝)

2012年度「GE-SEN〜ゲーム制作センター〜」で制作した2種類のゲーム「家庭防衛軍」「名探偵くーちゃん〜AMO美術館をさまよって〜」が楽しめる体験コーナーを設置。複数人でプレイしてスコアを競う「ゲーム大会」も3回実施された。



企画・運営：2012年度同志社ローム記念館プロジェクト GE-SEN〜ゲーム制作センター〜有志

ハロウィンファッションSHOW! 「トリック オア トリート」

10月14日(月・祝)

幼稚園児・小学生を対象に、約1時間で親子で協力してハロウィンの衣装をつくってもらい、ファッションショー形式で発表するワークショップを開催。最後に、参加者全員で記念撮影をおこない、撮った写真は参加者に配付された。



企画・運営：スタジオZero

ステップアップ キャンプ

2013年 8月10日(土)～11日(日) 同志社びわこリトリートセンター

テーマ「メンバーシップ！」

今年のステップアップキャンプは、スタジオZeroが企画・運営するはじめてのメンバー向けイベントで、計56名のメンバーが参加した。みんなの前で発言する機会を少しでも多くつくろうという狙いで、発表者を毎回くじでランダムに選出。ワークショップの感想から、食事の時の「いただきます！」の掛け声まで、その場

で決まるドキドキ感で盛り上がり、メンバーの新しい一面を発見することの多いキャンプとなった。普段と異なる場所で寝食を共にし、プロジェクトの絆をこえて様々なワークに取り組むことで、多くのことに挑戦し、新たなつながりもできたようだ。



中間報告会

2013年 9月28日(土)

今年は、オープン10周年記念イベントの初日に開催。プレゼンテーションとポスターセッションの場で、運営委員や外部審査員、OPに自分たちの目標や活動内容を語った。その後開催されたオープン10周年記念の謎解きイベントでは、OPとメンバーが協力しあい、全てのチームが謎をクリア！OP総会も盛況におわり、プロジェクト開始時の熱い想いを再確認すると共に、残りの活動にすぐに活かせる多くのアドバイスやヒントを得た報告会となったようだ。

中間報告会・OP総会 スケジュール

13:00～13:55	プレゼンテーション 各プロジェクトから、5分間で、活動概要や達成度についてのプレゼンテーションをおこなった。
14:10～16:00	ポスターセッション 活動内容とプロセスについて示したポスターを前に意見交換をおこなった。
16:00～17:00	10周年記念企画 謎解きイベント「目覚めるとそこはローム記念館劇場空間だった」 メンバーとOPとがチームに分かれて挑戦。OP総会に向け、交流を深めた。
17:30～19:00	OP総会・交流会 昨年5月に引き続き開催された。(教職員食堂LIBREにて)



同志社 クローバー祭

2013年 11月3日(日)～4日(月・祝)

多くの学生や市民を迎える学園祭「同志社クローバー祭」が今年も開催された。ローム記念館プロジェクトは、開発中のシステムの使いやすさに関するアンケート調査や、子供向けのワークショップや体験教室など、日頃の取り組みに関連したイベントをそれぞれ館内に出展した。自分たちの活動を社会に発信、多くの人にアピールできたようだ。

プロジェクトイベント

スタンプラリー ～集え、ローム記念館へ！～

企画・運営：スタジオZero

館内のプロジェクトブースに設置されたスタンプを集めるスタンプラリーを実施。プロジェクトの認知度やプロジェクトイベントに関するアンケートもおこなった。また、ステンシル教室「ロームでたいけん！」も開催し、子供たちに人気であった。



歌留多あわせおみくじ&伊勢かるた演武かるた取り体験

企画・運営：歌留多ラボ

江戸時代に使用されていた歌かるたを用いたおみくじと、歌留多貼り体験を実施。また、劇場空間で競技かるたの演武をおこない、一般参加者と対戦の様子も見られた。



会社体験 Company Soldier

企画・運営：Gamitribution!

仕事に関するゲームを解いてブースを巡るクイズラリーを実施し、開発中の職業体験ゲームの試作版も一部公開された。



Do! パピを体験しよう☆

企画・運営：同志社電子書籍プロジェクト

電子書籍配信プラットフォーム「Do!パピ」を体験してもらい、手書きコメント機能の使い心地などを調査した。



京都の魅力を再発見！

企画・運営：コトNAVI

制作中の京都市内の交通案内用サイトを触ってもらい、感想や使いやすさについてアンケートでの調査を実施した。



ものづくり教室 ～みて、つくって、ふれあおう！～

企画・運営：ROBOX

ライトレーサーや、水に浮かべて遊べる船がつくれるものづくり教室を開催。現在制作中のコミュニケーションロボットも紹介された。



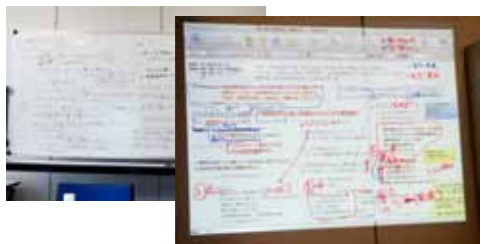
Scratch × Dance

企画・運営：playful learning

子供たちと一緒に、教育用プログラミング環境「Scratch」を用いてオリジナルダンスをつくるワークショップを開催した。

目覚めるとそこは ローム記念館 劇場空間だった

2013年6月、オープン10周年を控えた同志社ローム記念館に一つのプロジェクトが立ち上がった。OP (Old Project-member) による謎解きイベントである。今話題の謎解きイベントを、メディアを扱う同志社ローム記念館ならではのものに独自にアレンジして実施するという、野心的な試みである。「大人」主体の企画として現役生に力の差を見せつけるべし、という至上命令が下った。そこで企画されたのが“謎づくり合宿”。一泊二日、一発勝負、一触即発の本気の合宿である。



初日のメモ。スクリーンに投影しながらアイデアを固めていく... 予定であった。しかし、見返してみるとここに書いてあるネタは全てボツだったようだ。

6月某日、同志社ローム記念館内のミーティングルームにて合宿がスタート。ローム記念館プロジェクトの初代メンバー含め様々な年代の有志が集まるも、当然全員が「謎解き」イベントの制作は初めての経験。方向性が定まらず、ミーティングは迷走。本当に3ヶ月でプロジェクトが完成するのか、暗雲が立ちこめた。問題は山積みそのまま時間切れとなり、「大人」ならではのミーティング（通称：飲み会）を実施するために京都駅へ移動することとなった。

message by "cho-ro"



▲ 現職の研究室にて、たまたま訪ねてきた学生さんに撮ってもらいました

ローム記念館が完成してはや10年。当時、「学生コアスタッフ」なるチームに所属することになったものの、最初は右も左もわからない(そもそも目的すら謎だった...) 状態でした。この中で自分が考えたプロジェクトの存在意義は、「自分たちだけが楽しく過ごすプロジェクトではなく、掲示物やウェブなどの制作物であれイベントであれ、とにかく自分たちの出来る最高品質でアウトプットを出す」というものでした。喧嘩スレスレの議論をしたりダメ出しが厳しすぎたりして多くの人を困らせたかもしれない。この場を借りてお詫びします。お詫びはしますが、でもあれは必要なことだったんじゃないかなあ。たぶん。現役のみなさんもクオリティを追求して下さい。批判することを躊躇してはいけません。批判と非難は違うのです。そして、仲間だった皆さん、これからもよろしく。

神戸市立工業高等専門学校 電子工学科 准教授
長谷 芳樹 (初代コアプロジェクトメンバー)

大人のippo
第2号は近日刊行予定!!

大人のippoは同志社ローム記念館内などで配布します

まさかの 大人の合宿 敢行記録

初日の夜は京都駅前前で宿泊。翌日の最後のミーティングにターゲットを定め、眠い頭を懸命に働かせてメンバーそれぞれがアイデアを練った。2日目は今出川キャンパス(寒梅館)に移動しての最終決戦となった。このミーティングにおける最後の追い込みにより、イベントの具体的なコンセプトや謎の個数と配置、そしてそれらの役割分担を決定した。この合宿後、各自に割り当てられた謎の作成や印刷物デザインなどをおこない、イベント本番に臨むこととなる。

謎解きイベント舞台裏の詳細は
大人のippo第2号で特集予定です



合宿2日目。寒梅館にて。だいたいアイデアが固まってきている。大人の面目躍如を見せつけたワンシーン。powered by 大量のおやつ。



10周年記念イベント本番。【左】チームで謎解きに挑戦。【右】ローム記念館ならではのメディア系の謎にもトライ。

Event Report

イベント報告

2013年7月～
2014年1月

● イベント

Let's party with B-Girls

7月10日(水)
女子大学の現代こども学科の学生によるワークショップ
主催：同志社女子大学 現代社会学科 現代こども学科

スクラッチ×ダンス

7月20日(土)
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「playful learning」

2013年度プロジェクト科目春学期成果報告会

7月28日(日)
プロジェクト科目の15科目によるポスターセッション。
(オープンキャンパスと同日開催)
主催：同志社大学プロジェクト科目検討部会事務局



2013年度 同志社ローム記念館プロジェクト 中間報告会

9月28日(土)
詳しくは、P7を参照のこと。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

京都市共同広報プロジェクト 動画制作発表会

10月1日(火)
京都市動画情報館に掲載する動画を制作。発表会がおこなわれた。
主催：同志社女子大学学芸学部 情報メディア学科 森・有賀・二瓶ゼミ3年次生



同志社ローム記念館 オープン10周年記念イベント「interaction」

9月28日(土)～10月14日(月・祝)
詳しくは、P5～6を参照のこと。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会

“アメリカ”国際インターンシップ 説明会

10月21日(月)
主催：同志社大学 キャリアセンター

合同ロボットコンテスト ライトレース大会

10月26日(土)
関西圏の大学が集結し、自作のロボットで、ライトレースの早さやロボットのアイデアを競った。
主催：同志社大学 ロボット研究会



エコキャンドルづくり

10月27日(日)
主催：同志社大学 京田辺地域連携推進室

Doshisha Spirit Week

10月30日(水)
同志社大学応援団による演舞がおこなわれた。
主催：同志社大学 キリスト教文化センター

同志社クローバー祭2013

11月3日(日)～4日(月・祝)
各プロジェクトのイベントはP8を参照のこと。



けいはんなプラザ・ブチコンサート IN 京田辺 at 同志社クローバー祭2013

11月3日(日)
主催：けいはんな学研都市活性化推進協議会、けいはんなプラザ・ブチコンサート実行委員会

ROHM Symphonic Bandミニコンサート in 同志社クローバー祭

11月3日(日)
主催：ROHM Symphonic Band

ロームフェア2013

11月7日(木)・8日(金)
主催：ローム株式会社、同志社ローム記念館

下宿相談会

11月9日(土)・10日(日)・16日(土)
主催：同志社大学 学生生活課



よさ朗祭り☆よさろーむ

11月22日(金)
主催：同志社大学 よさこいサークル「よさ朗」

December Project Fes. ～ロム・クリ～ in Doshisha Rohm Plaza

12月9日(月)～13日(金)
現在活動中の各プロジェクトがブースで出展。来場者に、クイズラリーの形式でブースを回ってもらい、プロジェクトについて知ってもらいイベントを開催した。会期中、ローム記念館内はクリスマス仕様に装飾され、アカベラサークルOne Voicesのスペシャルコンサートと、マジックアンドジャグリングサークルFocus-Pocusによるスペシャルステージも開催された。
主催：同志社ローム記念館プロジェクト「スタジオZero」



● 展示

フォーミュラカーの展示

7月1日(月)～
主催：同志社大学 機械研究会

写真展

12月16日(月)～20日(金)
主催：同志社大学写真同好会